

輸入業者、海外からの原料を輸入している業者
などのヒアリング概要

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
1 輸出入の状況 (1) 原料調達				○ 団体が需要をまとめ、直接又は商社を通じて、輸出国に数量や品質などの輸入条件を提示し調達。(全麦連) ○ 収穫前や収穫時に直接出向き、輸出国の事業者と数量、品質、価格について交渉。(全麦連)
(2) 原料の価格の決め方	○ 味噌・醤油等の食用大豆の価格は、1年といった長い期間での取決めが多い。(兼松) ○ 実需者への売渡価格は、形態が様々であり、決め方も一律ではない。どの価格形態でいつ決めるかの決断は、対象とする船積み期間の市場価格を基に実需者が行う。(カーギル) ○ 買付価格は、シカゴ相場、輸送コスト、フレート、金利、港湾諸掛等から構成。(豊田通商)	○ 価格は市場の状況を見てメーカーが判断。(各社) ○ 価格は、シカゴの定期相場、現物相場、フレート、IPハンドリングのプレミアム、為替変換リスク等から決定。(日本食品化工) ○ 価格は、本船の積期に合わせて、どの時期にどの港に配船するかで決定。(日本食品化工)		

(注) IPハンドリング (Identity Preserved Handling=分別生産流通管理) とは、遺伝子組換え農産物と非遺伝子組換え農産物を生産・流通及び加工の各段階で混入が起らないように管理し、そのことが書類などにより証明されていること。

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
(3) 輸出制度の変更			○ カナダ小麦局による国家貿易（一元輸出管理）がなくなれば、自由な値決め、長期契約、品質の特定ができる可能性。（Xcan） ○ 一元輸出管理の廃止に伴って、輸出取扱数量が増加。（CBH）	
(4) 品質チェックの手法	○ 民間輸入の場合、行政検査は受けるが、それ以上の自主検査については、個々の契約当事者の判断。（カーギル）	○ 売り手、買い手双方が検査会社に依頼し、糖度を検査。（三井製糖） ○ 新規サプライヤーを採用する際には、現地の工場に赴き、工程確認等を行うとともに、サンプルを研究所で確認。（明治乳業） ○ チーズは、保税倉庫で官能検査・外観検査、工場受け入れ段階で微生物検査等を行い、品質を維持。（明治乳業） ○ 輸出国での積地検査及び日本到着時の厚生労働省の着地検査に加えて、工場到着後にも品質を確認。（日本食品化工）		

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
2 業務について (1) 国家貿易と民間輸入の差異	○ 小麦の国家貿易は、供給面で非常に安定。(兼松) ○ 民間は営利重視であり、不安定さが発生。(豊田通商) ○ 買付けの予定(銘柄、数量、船積期間など)を事前に通知することは、民間輸入ではあまりない。(カーギル) ○ 民間輸入では、タイミング、数量、銘柄、品質規格、船積期間などを輸入者と実需者がその都度相談して決定。(カーギル) ○ 民間でも国家貿易と同じ様に調整するので、事前のサプライヤーとの品質協議、規格のしぼり、現地の視察等の品質面での取り組み方に違いはない。(カーギル) ○ 国がコストを払って安全性を担保しているが、仮に国の関与が無くなれば、そのコスト負担をユーザーに転嫁。(カーギル)		○ 輸出の相手先として国と民間で輸出業者の対応に異なる点はない。(Xcan) ○ 日本は国家貿易なので担保措置を取っていないが、他国は担保措置を取っている。(CBH)	

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
(2) 国家貿易の5 銘柄とSBS 銘柄(デュラ ム、プライム ハード)の輸 入に係る差異	○ SBSは、3者契約であるということを除けば、民間輸入に近い。実需者と商社間の価格の決め方も、他の穀物に近い。(カーギル) ○ 制度が始まったのはかなり昔であり、現在は、状況も変わって来たので、制度面での変化があっても良い。 数量・安全性は国で、価格は民間、実需者で決めるのも一つのアイデア。(兼松) ○ SBSの方が、消費者ニーズに対応。一方、運賃や検査ロット等のコスト面はロットの大きい一般国家貿易にメリット。(兼松) ○ 金利負担に大きな差が存在。(豊田通商) ○ SBSは、一般国貿銘柄との混載は認められておらず、スケールメリットを発揮しにくい。(カーギル)	○ SBSは、自分の技術指導したサプライヤーから買えるというメリット。(明治乳業)	○ 現状下では、豪州国内での集荷方法に大きな違いはない。(CBH) ○ 国による輸入でも、民間による輸入でも、西豪州の生産者は安定的に供給。(CBH)	○ SBSの利点は、いろいろな国から買えるようになったこと。(中部飼料) ○ SBSは、コスト競争力のある国を選べる点が大きなメリット。(中部飼料) ○ SBSをやって良かったという実感はないが、量の細かな対応がすぐにできる点は便利。(全麦連) ○ SBSは、経済的に輸入するため1.5か月に1回程度の輸入となるが、船が遅れることがあるため、2.5か月程度の在庫が必要。このため、金利、保管料などが発生。全麦連) ○ 一般国家貿易では、その時の必要量を手当てしていたが、SBSでは、2か月分以上の在庫を保有。(中部飼料) ○ とうもろこしを運ぶ船と混載できれば在庫調整や価格(フレート)の面でメリット。(中部飼料)

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	S B S による原料輸入業者
3 安定的な穀物の輸出入・原料調達 (1) 穀物の輸出入・原料調達に支障が生じた場合の対策	○ 実需者による臨機応変な対応（原料の変更等）が最大の打開策となる。（カーギル）	○ 農林水産省が四半期毎に公表する砂糖の需給見通しと自社で策定する四半期毎の販売・生産計画に沿って、需要月の2～4か月前に調達。（塩水港精糖）	○ 安定供給は、カナダ小麦局も重要視。いいものを日本向けに輸出するよう努力。（X can） ○ 生産農家との関係を強化して安定供給。（C B H） ○ 干ばつなどの天候異変時にも、株主である穀物生産者との強力な関係により、日本のような重要な顧客に対して安定供給。（C B H）	○ 輸入国の多元化が必要。S B S 導入後、買付先国が拡大。（中部飼料）
(2) 小麦以外の穀物の安定的な輸入の確保措置	○ 買付先国を多様化。（カーギル） ○ 輸出国の有力サプライヤーとの関係を強化。（豊田通商） ○ 輸入代替国を研究。（豊田通商） ○ 民間輸入では、客の需要と価格に合わせて新規の産地を開拓。（豊田通商）	○ 当面は海外相場が安定すると見込み、安定上下限価格を撤廃し、糖価安定資金を使って業界は合理化を実施。外糖価格が変動するのは当然のこと。（塩水港精糖） ○ 時価条件で契約しているので相場が異常に高騰しても、その値段で買わざるを得ないが、特段の支障が生じたことはない。（三井製糖）		

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
(2) 小麦以外の穀物の安定的な輸入の確保措置		○ 異常気象が各地で常態化しており、買付先国を分散。(明治乳業) ○ 主要製品の原料は、在庫を多めに保持。長期契約によって安定供給。(明治乳業) ○ 常に国際相場にさらされており、国際相場の変動を緩和するという措置は困難。(明治乳業) ○ 企業としてリスクは取れないので、基本的に必要量を毎日淡々と購入。(日本食品化工) ○ 特定の商社の担当者とは価格・見通し・買時・数量について、毎日情報交換。(塩水港精糖) ○ いろいろな商社と付き合い、情報収集。(三井製糖) ○ 商社と毎日電話し、2週間に1度は面談。(日本食品化工)		

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
4 商品価格への転嫁（原料が高騰した場合の転嫁のタイミング）		○ 原料価格は製品価格の大きな要素だが、燃料代等の製造加工経費や需給に応じた製品価格の変動もある。これら諸要素を総合的に勘案して、コスト増を企業努力で吸収でき、製品価格を決定。（塩水港精糖） ○ 特段の改定ルールを設けておらず、相場が上がればコストが上がるので製品価格を引上げ、下がれば下げる。（三井製糖） ○ 相場状況を逐一実需者に説明し、了解を得る形で価格を決定。（日本食品化工）		○ 原料価格の小幅の変動は、メーカーで吸収するが、大きく変動した場合は、その変動要因を販売先に説明し、理解を求める。（全麦連） ○ 価格の上昇場面では、価格転嫁は後ろ倒しとなり、下落場面では、在庫を持っているにもかかわらず価格転嫁は前倒しとなる。（全麦連）
5 今後の麦の輸入（1）麦の安定的な輸入を確保するための措置。	○ 買付先国や輸入銘柄を多様化すべき。（兼松） ○ 平時から3か国（アメリカ、カナダ、オーストラリア）に代わる買付先国を確保しておく必要。（豊田通商）			○ 買付先国の多元化を図る必要。（全麦連）

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
(1) 麦の安定的な輸入を確保するための措置。	○ 小麦の輸入代替国の確保は、基本的には国家安全保障である。(豊田通商)			
(2) 麦の国家貿易の意味	○ 委託元が国であっても民間であっても、商社同士で競争して契約を行うことにおいては何ら変わらない。(カーギル) ○ 飼料穀物や大豆のように、国家貿易でなくても備蓄は可能。(カーギル) ○ 政府からの細やかな需給情報の開示といった環境整備次第では、主食の供給と変動相場が相容れないとは限らない。(カーギル) ○ 国による価格の調整機能がなくなれば、価格の変動がエンドユーザーにダイレクトにいくため、変動の要素は大きくなる。(兼松) ○ 輸出国側にとって、日本の国家貿易は、これまでの実績や入札2日前のアナウンスなどから、需要を予測しやすい。(カーギル)			

項 目	ヒアリングにおける意見			
	輸入業者	食品産業	輸出業者	SBSによる原料輸入業者
(2) 麦の国家貿易の意味	○ 現在の配船システムは他に類をみない卓越したシステム。(豊田通商) ○ 国家貿易をやめたら、民間は商業ベースで0.5か月分の回転在庫を保有。(カーギル) ○ 国家貿易の意味は、価格の国境措置ということに尽きる。(カーギル)			